

はじめに

1. 収録問題と構成

過去に実施された日本自動車整備振興会連合会の登録試験を12回分収録してあります。

「ジャンル別」問題では、過去の試験問題を、①基礎工学、②動力伝達装置、③アクスル／サスペンション、④ステアリング装置、⑤ホイール及びタイヤ、⑥ホイール・アライメント、⑦ブレーキ装置、⑧フレーム&ボデー、⑨電気装置、⑩法令、に区分して配列してあります。また、各区分ごとに、さらに細かく項目を配列してあります。

出題時期は、各問題の最後に[]で表示しました。[29.10]であれば、平成29年10月の問題ということになります。複数表示されている場合は、類似問題も含めて過去に複数回出題されていることを示します。

また、各問題には「」マークを付けました。これにチェックを入れることで、問題の習熟度を知ることができます。

教科書改訂又は法改正により設問自体が不適切となっている場合があります。このような場合は、編集部で設問の一部あるいは全部を書き換え、適切なものとなるようにしています。設問の出題時期の後に[改]とあるものが該当します。

「模擬試験」では、試験問題をいったん別々にして、その後に再び実際の試験問題と同じ出題パターンに編集してあります。従って、「ジャンル別」と「模擬試験」の両方を終えれば、合計12回分の問題に取り組んだことになります。

回数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
実施年月	29.10	29.3	28.10	28.3	27.10	27.3	26.10	26.3	25.10	25.3	24.10	24.3

2. 試験の出題形式及び合格基準について

出題形式は四肢択一式で、解答はマークシート方式です。試験時間は60分です。

試験問題は全部で30問出題されます。採点は1問1点で、合計30点満点です。合格基準は70%以上の成績といわれています。

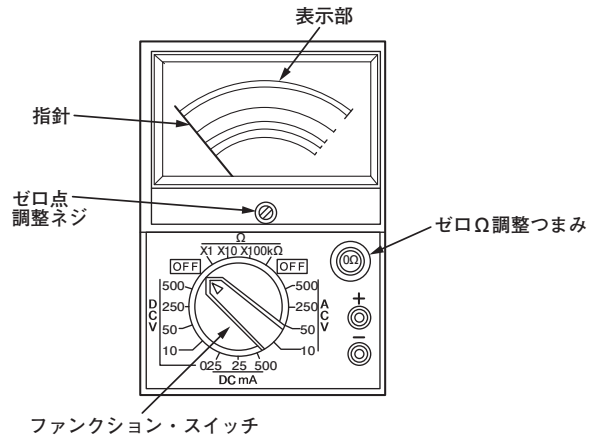
3. 正解について

試験を行う日整連は、問題の正解を公表しています。従って、公表されている正解をそのまま掲載しました。ただし、設問の中には、編集部でも正解を迷うケースがあります。このような場合は、理論的な考え方のほかに、出題者側の出題意図も十分に考慮して判断しました。設問が不適切であっても、出題者側には必ず「正解」が用意されているためです。

【8】 図に示すアナログ式サーキット・テスタの使用上の注意点に関する次の文章の () に当てはまるものとして、**適切なものは次のうちどれか。** [26. 3/24. 10]

測定時にレンジを選択する場合は、() の測定では表示部の中央に指針が落ちつくレンジを選ぶ。

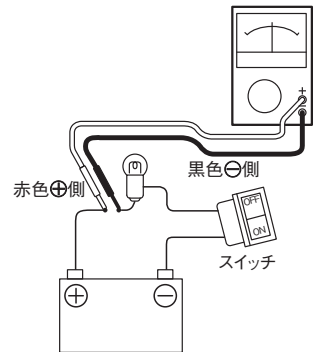
- 1. 直流電圧
- 2. 交流電圧
- 3. 抵抗
- 4. 直流電流



【9】 図に示すアナログ式サーキット・テスタの取り扱いに関する次の文章の () に当てはまるものとして、**適切なものは次のうちどれか。** [28. 10/27. 3/25. 10]

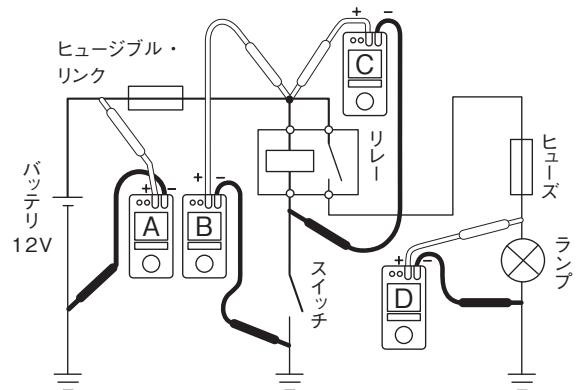
() を測定する場合は、測定回路に対し、サーキット・テスタが直列になるようにプローブを接続する。

- 1. 交流電圧
- 2. 直流電圧
- 3. 直流電流
- 4. スイッチの単体抵抗



【10】 図に示す電気回路の電圧測定において、接続されている電圧計 A, B, C, D が表示する電圧値として、**不適切なものは次のうちどれか。** ただし、回路中のスイッチは OFF (開) で、バッテリー及び配線の抵抗はないものとする。 [29. 3/27. 10改]

- 1. 電圧計 A は 12V を表示する。
- 2. 電圧計 B は 12V を表示する。
- 3. 電圧計 C は 0V を表示する。
- 4. 電圧計 D は 12V を表示する。



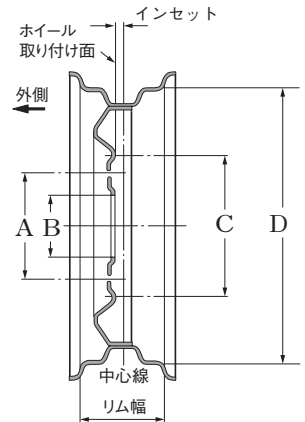
【1】	【2】	【3】	【4】	【5】	【6】	【7】	【8】	【9】	【10】

■ [ホイール及びタイヤ]

【1】図に示すディスク・ホイールで、ハブ穴直径を表すものとして、適切なものは次のうちどれか。

[29.10/28.3改/26.10改/25.3改]

1. A
2. B
3. C
4. D



【2】タイヤとホイール（JIS方式）に関する記述として、不適切なものは次のうちどれか。[27.3改]

1. タイヤのエア圧の点検は、タイヤが冷えている状態で行う。
2. タイヤの溝の深さの測定は、デプス・ゲージを用いて行う。
3. 複輪用ホイールのオフセットは、リム幅の中心線からホイール取り付け面までの寸法をいう。
4. ホイールの広幅平底リムは、タイヤの脱着を容易にするため中央部にリム・ドロップ（深くぼみ）を設けている。

【3】タイヤとホイール（JIS方式）に関する記述として、適切なものは次のうちどれか。[25.10改]

1. タイヤのエア圧の点検は、タイヤが冷えている状態で行う。
2. タイヤの溝の深さの測定は、タイヤ・ゲージを用いて行う。
3. トラックの右側のホイール・ナットには、一般に左ねじが使用されている。
4. ホイールの広幅平底リムは、タイヤの脱着を容易にするため中央部にリム・ドロップ（深くぼみ）を設けている。

【4】タイヤとホイール（JIS方式）に関する記述として、適切なものは次のうちどれか。[24.3改]

1. タイヤのエア圧の点検は、タイヤが冷えている状態で行う。
2. トラックの右側のホイール・ナットには、一般に左ねじが使用されている。
3. ホイールのリムの振れを点検するときは、シックネス・ゲージを用いて測定する。
4. ホイールの広幅平底リムは、タイヤの脱着を容易にするため中央部にリム・ドロップ（深くぼみ）を設けたリムである。

【5】タイヤとホイール（JIS方式）に関する記述として、適切なものは次のうちどれか。[28.10改]

1. 右側のホイール・ナットには、一般に左ねじが使用されている。
2. ホイールの広幅平底リムは、乗用車及び小型トラックに用いられている。
3. タイヤのエア圧の点検は、タイヤが冷えている状態で行う。
4. タイヤの溝の深さの測定は、タイヤ・ゲージを用いて行う。

【1】自動車の性能及び諸元に関する記述として、適切なものは次のうちどれか。

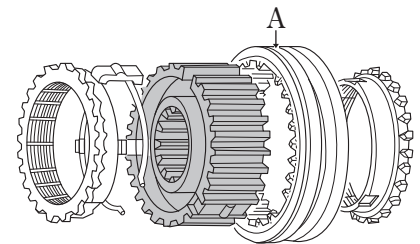
1. 制動力は、タイヤと路面との摩擦力が小さいほど、大きくなる。
 2. 走行抵抗は、車速が増すごとに大きくなるが、勾配の大きさでは変化しない。
 3. 自動車総質量とは、空車状態の自動車に最大積載質量の物品を積載したときの質量をいう。
 4. 空車状態とは、燃料、潤滑油、冷却水などを全量搭載し、運行に必要な装備をした状態をいう。

【2】油圧式のダイヤフラム・スプリング式クラッチにおいて、クラッチの切れ不良の原因として、不適切なものは次のうちどれか。

1. ダイヤフラム・スプリングの高さの不ぞろい
 2. クラッチ・フェーシング面のオイル付着
 3. クラッチ液圧系統へのエア混入
 4. クラッチ・ディスクの振れ

【3】図に示すキー式シンクロメッシュ機構のAの部品名称として、適切なものは次のうちどれか。

1. スリーブ
 2. シンクロナイザ・リング
 3. シンクロナイザ・ハブ
 4. シンクロナイザ・キー



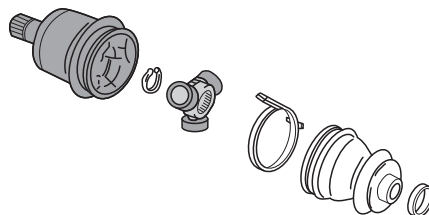
【4】オートマチック・トランスミッションに用いられているオイル・ポンプに関する次の文章の（ ）に当てはまるものとして、適切なものは次のうちどれか。

オイル・ポンプは、トルク・コンバータの（ ）と共にエンジンによって駆動される。

1. ステータ
 2. ポンプ・インペラ
 3. タービン・ランナ
 4. ワンウェイ・クラッチ

【5】図に示すドライブ・シャフトのスライド式等速ジョイントに用いられている、トリポード型ジョイントの構成部品として、適切なものは次のうちどれか。

1. ボール
 2. スパイダ
 3. インナ・レース
 4. ボール・ケージ



【6】FR車に用いられているファイナル・ギヤに関する記述として、不適切なものは次のうちどれか。

1. ファイナル・ギヤには、スパイラル・ベベル・ギヤ又はハイポイド・ギヤが用いられている。
 2. ファイナル・ギヤの減速比は、最終的な減速をすることから、終減速比という。
 3. ドライブ・ピニオンは、ギヤ・キャリアに対してニードル・ローラ・ベアリングで支持されている。
 4. ハイポイド・ギヤは、ドライブ・ピニオンとリング・ギヤの軸中心をオフセットさせてかみ合わせている。

平成30年版 自動車整備士
3級シヤシ 練習問題集

定価700円／送料200円（共に税込）

■発行日 平成30年1月15日 初版

■発行所 株式会社 公論出版
〒110-0005 東京都台東区上野3-1-8
TEL：03-3837-5731（編集）
03-3837-5745（販売）
FAX：03-3837-5740
HP：<http://www.kouronpub.com>